



穴をあけて綴じてください



街のオアシス——空から見た六郷神社

(写真提供／東京新聞)

お祭りは6月8日(土)・9日(日)

ことしも陰祭りかげまつりですので、9日早朝から神社の二之神輿が、宮本、東三、東二、東一、南一、南二、南三の順に渡御とぎよします。宮出しは9日午前8時30分、宮入りは午後4時20分の予定です。

こども獅子舞は神楽殿で演舞します。8日は午後2時30分と5時30分からの2回、9日は午後1時、3時、5時30分からの3回。なお、崇敬会養成の若人たちが、六郷ばやしを神門前の棧敷でにぎやかに演奏します。

崇敬会では両日、拝殿脇に会員記帳所を設けます。ご参拝の節お立ち寄りください。平成8年度の年会費払い込み、新入会員の受け付けもいたします。

本会顧問に 一色孝雄氏

4月1日、本会顧問に一色孝雄氏（神社責任役員）が就任されました。

鈴木弥宜 7月に結婚

六郷神社弥宜鈴木祐一氏は7月6日、めでたく結婚式を挙げられます。

六郷神社崇敬会
平成7年度決算報告書

(1)収支計算書 (平成7年4月1日から
平成8年3月31日まで)

収入の部		円
個人会費	1,893,000	
法人会費	530,000	
雑収入	289,204	
前繰越金	509,148	
合 計	3,221,352	

支出の部		円
六郷神社協賛金	682,560	
備品費	170,000	
会報発行費(第12.13号)	574,740	
事務通信費	185,534	
通会費	198,724	
郵便振替払込料	219,918	
消耗品費	25,100	
渉外費	183,071	
催事費	208,600	
雑費	370,153	
予備費	19,974	
次期繰越金	0	
合 計	382,978	
合 計	3,221,352	

(2)資金残高内訳 (平成8年3月31日現在)

郵便振替貯金	9,135	円
城南信用金庫定期預金	300,000	
同 普通預金	25,964	
現金	47,879	
合 計(次期繰越金)	382,978	

監査報告書

監査の結果、上記平成7年度決算報告書は、正確であることを認めました。

平成8年5月7日

監事 代田 秀雄 ㊟
監事 林 孝嘉 ㊟

6月22日
第7回 定期総会にご出席ください

第7回定期総会を左記のとおり開催いたしますので、ぜひご出席くださいますようお願い申し上げます。なお総会終了後、会員の懇親会を行います。

記

- 一、日時 平成8年6月22日(土) 午後1時30分
二、場所 大田区東六郷3-10-18 六郷神社社務所
三、会議の目的

(1) 報告事項

平成7年度会務及び事業報告の件

(2) 審議事項

1. 平成7年度(平成7年4月1日から平成8年3月31日まで) 決算報告書承認の件
2. 平成8年度(平成8年4月1日から平成9年3月31日まで) 事業計画(案)及び収支予算(案)承認の件

四、会員懇親会

本会对するご意見や新しい行事のアイデアなどをお聞かせください。

平成7年度会務
および事業報告

平成8年3月31日現在、本会の会員数は、個人79名、法人83社。本年度は、常任理事会を8回、理事会を1回開催し、会報12・13号を発行しました。事業としては、新社務所竣功祝賀行事と終戦50周年の六郷地区戦没殉難者慰霊祭の二つが特筆されます。

平成7年4月1日 第58回ついでたち早朝まいり。講話「現代社会のひずみ」森田賢治

5月1日 第59回ついでたち早朝まいり。講話「六郷のしきたり」高橋武三

5月24日 会報第12号発行

6月1日 第60回ついでたち早朝まいり。講話「子どもの躰について」持田博美

6月3・4日 祭礼。両日、会員参拝記帳所を設け、神門前の棧敷で六郷ばやし演奏。

7月1日 第61回ついでたち早朝まいり。講話「忘れえぬシベリア抑留」足利幸吉

7月23日 新社務所竣功祭・祝賀披露宴に、生花と鏡割りの清酒四斗樽を寄進。六郷ばやし慶祝のムードを盛り上げる。

7月30日 第5回定期総会を新社務所大広間で開催。

8月1日 第62回ついでたち早朝まいり。講話「続・忘れえぬシベリア抑留」足利幸吉

9月1日 第63回ついたち早朝まいり。講話

「学徒出陣の思い出」森田賢治

10月1日 第64回ついたち早朝まいり。講話

「戦争の悲惨さ」前嶋唯七

11月1日 第65回ついたち早朝まいり。講話

「六郷のトンビ凧について」吉田恒男

11月3日 終戦50周年にあたり、創立記念日

の行事として、忠魂碑前で六郷地区戦没殉

難者慰霊祭を遺族会と共催。境内で添釜

12月1日 第66回ついたち早朝まいり。講話

「映画100年によせて」森田賢治

12月27日 会報第13号発行

平成8年1月1日 歳旦祭に清酒2斗樽奉納

氏子青年会の協力で初詣客に振る舞う。社

務所に献花。

1月3日 新春昇殿参拝に約350名参加。神社

から神酒と特別神札が授与され、崇敬会で

は御供物と共に境内で甘酒進上。

茶道教室ぐいあんない

本会の献木式添釜でおなじみの大日

本茶道協会の原田朗仙先生が、社務所

内の茶室で毎週金曜日午後5時30分か

ら8時まで、茶道教室を開いています。

参加希望者は社務所へお申し込みく

ださい。男女・年齢を問いません。月

謝5000円・御菓子代1000円

2月1日 第67回ついたち早朝まいり。講話

「蒲田消防団と第6分団の活動」林 孝嘉

3月1日 第68回ついたち早朝まいり。講話

「六郷地区戦没者遺族会の現状について」

金輪雅夫

平成8年度事業計画(案)

(1) 六郷神社ついたち早朝まいり(定例)

昇殿参拝後、会員有志が交替で10分以内の
短い講話を行っています(元日を除く)。

7月より10月まで 午前6時集合

11月より6月まで 午前7時集合

(2) 白山比咩神社・気多大社参拝と奥能登の旧

跡をめぐる旅

霊峰白山を神体山とした加賀の一の宮・白

山比咩神社と、旧国幣大社で能登の一の宮

・気多大社の正式参拝を行い、奥能登の風

光をめりながら総持寺祖院や時国家などの

旧跡をたずねます。

9月26日～28日(2泊3日)、定員40名。会

員に案内状を送り参加者を募集します。

(3) 創立7周年記念の献木式と添釜

11月3日午前10時30分からの献木式に続き、

大日本茶道協会のみなさんの奉仕により、

新庭園で添釜(野点)を行います。

(4) 昭和12年の「曳船祭」のスライド上映

6月22日の定期総会終了後、社務所大広間
において、昭和12年6月20日に行われた曳

船祭の盛儀を、多数のスライド上映によつ
てしのび、その歴史的認識を新たにします。

(5) 六郷ばやし復活の助成(継続)

木村和治郎氏の好意ある出張教授により、
待望の笛の練習を始めます。5月中は毎日

曜日、6月以降は隔週の日曜日の夜。

6月8・9日の祭礼には、神門前の棧敷で

にぎやかに演奏します。

(6) 平成9年1月3日六郷神社初詣(恒例)

会員とその家族の昇殿参拝を、左記のとお
り2回に分けて行います。

第1回昇殿参拝 午前10時30分

第2回昇殿参拝 午前11時30分

(7) 崇敬会会報第14・15号発行

六郷神社崇敬会 平成8年度収支予算案

収入の部		支出の部	
個人	1,830,000	金費	800,000
法人	550,000	社費	50,000
会費	200,000	協費	600,000
収繰	382,978	社品	150,000
前合	2,962,978	報発行費(第14・15号)	200,000
		事務信議替	220,000
		通会郵便振替	30,000
		消遣外	130,000
		渉催雑予	200,000
		備	400,000
		計	2,962,978

◆茅の輪をくぐって健康祈願

6月30日は夏越の大祓です。28日から社
前に設けられる茅の輪をくぐって疫気や
邪気を祓い、健康と長寿を祈りましょう。

シベリヤ抑留記

足利幸吉

昭和19年4月22日に召集された私は、満州の牡丹江で初年兵教育をうけ、やがて吉林省敦化に移動した。20年の7月に入ると、奥地から続々と避難民が南下してきて、現地自活のために編成された私たちの炊事班は、その給食に忙殺された。

ソ連軍が敦化に入ってきたのは、終戦の数日後だったと思う。重戦車が何台も轟音とともに砂塵を巻き揚げてくる。ソ連兵が2人1組となり、日本兵を銃でおどかし、万年筆や腕時計を剥奪していく。満人たちは、どこから手に入れたのか、赤い小旗を振って歓迎している。日の丸の旗を子どものおシメにしている満人の母親を見たとき、「ああ、国破れたり」と、涙がとめどもなく頬を流れた。

敦化飛行場に集結させられた私たちは9月下旬、1日50kmずつ3日歩いては1日休み、また歩いて、やっと牡丹江にたどり

着いた。日本に帰れるかと思ったら、シベリヤ鉄道の貨車に乗せられ、2週間以上かかって、バイカル湖西方のタイシエトまで運ばれた。そこから105捕虜収容所までは零下20度の雪中行進で、凍死凍傷の者が続出した。

収容所からさらに奥地に入った作業場では、直径40cmもある大木を1人1日1本伐り倒すノルマを課せられ、それを3mの長さに切って馬ゾリで搬出する重労働が続いた。

21年7月初旬、私は足のむくみを押すとペコンと指が入るほど重い脚気にかかった。さいわい回復したのも束の間、今度は収容所に赤痢が発生し、戦友のくれた黒パンを食べた直後から、発熱・腹痛・下痢に悩まされることになった。翌日、患者8名とトラックで後方の病院に送られたが、意識もうろうとして夜も昼もわからない。「アシカガア」と呼ぶナースの声に気づい

たのは何日目だったか。

日本語のうまい院長の話によると、ナースのターニヤはインタインの少尉でもあり、「アシカガのためは二日も三日も少ししか眠らないで看病した」という。あくる朝、ターニヤが特製のオカユを持ってきてくれた。

なんとといううまさだ！捕虜の身でお礼する物とてない私は、ターニヤにいった。「あなたも日本語が上手だが、語尾が強すぎて、若い女性のつかう言葉ではない。病院にいる間、お礼のしるしにそれを教えてあげよう」

やがて私たちは軍服姿のターニヤ少尉に引率され、タイシエト駅に向かった。いよいよ祖国日本に帰れるのだ。貨車のステップに足をかけたとき、「アシカガさん待って」と駆けてきたターニヤが、「これプレゼントです」と、煙草2箱とマッチを差し出した。「ありがとうターニヤ。ターニヤの笑顔はとてきれいだ」私はこれだけというのが精一杯だった。——昭和22年10月17日復員。時に27歳。

◆新入会員紹介

南二・田中義一 出川正明 南三
・山城隆一 仲一・内田易夫 水
谷敏 仲三・平野和子 平林俊子
西一・前嶋清 小原水雄 西二・
岡田巳之留 西四・江部愛子 萩
中一丁目・鎌倉宏行 秋山光明
稻城市・榎本みさ子

〈訂正〉前号の新入会員「大内敬吾事務所」を「大内敬伍事務所」とします。

▼訃報

唐木嵯峨三氏（崇敬会顧問）
平成7年12月22日逝去。98歳。

高橋武三氏（崇敬会常任理事）
平成8年2月25日逝去。71歳。

謹んで生前のご尽力に感謝し、ご冥福を祈ります。

◆平成8年度会費納入のお願い

お手数でも同封の振替用紙で、平成8年度の年会費（平成8年4月1日から同9年3月31日迄の分）を、お納めください。

発行：六郷神社崇敬会

〒144大田区東六郷三十一十八

六郷神社社務所内

電話 〇三三三三三三二八八九

振替 〇〇一九〇一六一二三五五三

編集 平野順治